

H-IIAロケット18号機 地上安全計画の改訂について

2010年 8月 4日

宇宙航空研究開発機構

1. 地上安全計画改訂の経緯

H-IIAロケット18号機の地上安全計画は、宇宙開発委員会第3, 4回安全部会(平成22年)にて審議了承された。

準天頂衛星初号機「みちびき」の打上日再設定に伴い、関連スケジュールの再検討を実施した結果、18号機の打上げ前に、H-IIB ロケット2号機用のSRB-A(固体ロケットブースタ)をVAB(ロケット組立棟)に搬入することとなった。

この為、18号機射場整備作業中にVABに存在するSRB-Aの本数が増加することとなり、警戒区域の見直し・追加が必要となった。

この警戒区域の見直し・追加に伴い、「H-IIAロケット18号機の打上げに係る地上安全計画 別添」を改訂した。

2. 地上安全計画の改訂概要

H-IIBロケット用SRB-Aが、H-IIAロケット18号機打上げ前にVABに搬入することになったことに伴い、H-II Bロケット用SRB-A搬入後の推進薬質量等により、「ロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価基準」Ⅲ2(1)に基づき警戒区域の見直しをおこなった。

以上の通り、警戒区域の見直しが必要となったので、地上安全計画の改訂について審議いただきたい。また、従来非公開審議していた別添資料に係わる変更なので、非公開審議でお願いしたい。